

2022 第7回 きもの知識検定 結果報告

実施日 令和4年11月3日、令和4年11月4日（2022）

受験者数 初級 31名 美容学校卒 162名受験予定
中級 8名

受験結果報告

平均点 初級 70.3点
中級 74.2点

※各地区平均は合格者一覧をご参照ください

合格者 初級 30名
中級 7名
不合格者 初級 1名
中級 1名

試験総評

第7回「きもの知識検定」は、昨年同様に対面およびオンラインによる、ハイブリッドでの試験実施となりました。受験していただきました皆様に心から敬意を表しお礼申し上げます。

全体の感想として、受験者の皆様には平素のお仕事柄、基礎的な知識は十分に身に付けておられると感じました。また事前勉強会により、出題の傾向をしっかりと受け取って試験に臨まれたことも伺えました。

初級は主に通過儀礼、装いのコーディネートについて、しきたりを理解し見識を深める出題が主でした。きもの文化の礎となる日本の風土や四季、人々の暮らしの背景から、きもの日常であった時代と現代のつながりや相違点に気が付いて頂けたと思います。

受験者の多くは和装業に精通されているので、TPOを含む基本知識についての出題は高い回答率を得ていますが、検定テキストを熟読していないことにより文化に特出した問題については回答率が低いという結果となりました。豆知識、由来、情報などがその範囲にあたります。試験の結果を問わず、「繰り返し読む」ことをおすすめしたいと思います。

中級の受験者は前回の初級の出題を網羅した箇所は十分に理解されていました。中級は主に土地の文化や歴史に触れた問題が多く、テキストによる学習が必要な出題については正解もまばらでした。しかしながら、文様の名前などは数も多いのでそのすべてを把握することは難しいため、理解しておくべき中級の知識は皆様よく出来ていたと思います。教養出題として、時節に沿って鎌倉時代を問いましたところ2問とも正解した方がいらっしゃいました。

中級に合格された皆様には、どうぞご自身の得意分野を決めていただき、是非上級の論考にチャレンジして頂けたら嬉しいです。

最後に、昨今は一人一人の生き方、社会の在り方に“多様性”が求められる時代となり、どの分野においても、より広い視野と柔軟な理解、対応ができる人材を必要としています。

本検定を受験された皆様方が様々な学びを社会の力とされ、より一層ご活躍されますことを祈念致して今年度の総評とさせていただきます。